



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社

コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 岡崎 隆 TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	28,259	△3.6	346	△46.7	511	△35.8	△300	—
25年3月期第3四半期	29,329	0.3	649	△14.9	796	5.8	573	62.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 792百万円 (50.9%) 25年3月期第3四半期 525百万円 (54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△7.26	—
25年3月期第3四半期	13.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	49,207	25,209	47.8	568.54
25年3月期	49,355	24,704	46.9	559.26

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 23,541百万円 25年3月期 23,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	△1.2	560	△51.1	770	△45.1	△145	—	△3.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ―社 （社名） 、除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	45,229,332株	25年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,822,689株	25年3月期	3,804,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	41,417,722株	25年3月期3Q	41,651,147株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済の成長鈍化はありましたが、欧州で回復の兆しが見られたことや米国経済が回復基調を維持したことにより、緩やかな回復の動きが見られました。

一方、わが国経済は、政府の経済政策を背景に雇用情勢や企業収益の改善、個人消費の持ち直しが見られ、さらには東京五輪の開催決定に伴う景況感の好転により、景気は緩やかに回復しております。

当社グループの主需要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、受注環境に回復が見られたものの、労働力不足、資材不足による建設工事の遅れや、造船の手持ち工事量が低水準で推移したことなどの影響を受けて依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発と販売力強化、生産効率の向上、原価低減や経費削減に取り組みましたが、海外部門の不振などからその効果は限定的なものとなりました。また、減損損失3億4百万円を特別損失に計上したことから、四半期純利益は減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は282億59百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は5億11百万円（同35.8%減）、四半期純損失は3億円（前年同期は四半期純利益5億73百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、9月に開催のプライベート・フェアに展示した最新鋭の「ファイバーレーザー切断機」、残材の有効活用により歩溜り向上を図ることができる「パッケージナビゲーションシステム」、新型プラズマ装置「SUPER-400 PRO」などの全国巡回販売を行いました。また、ポータブルCNC切断機「PNC-10」、「PNC-12」の専用実演車による実演展示販売活動を継続しましたが、厳しい受注環境の中、販売量は伸び悩みました。

海外においては、中国・ドイツ・米国・タイ・インドネシアなどの展示会に、各マーケットのニーズに合った新製品、新型低価格の門型・簡易NC切断機などを出展し、多くの引合い、受注を得ることができました。また、韓国新工場のお披露目を兼ねたプライベート・フェアを11月に開催し、各種新製品に加え、「ファイバーレーザー切断機」の出展・紹介を行い、多くの引合いを得ることができました。

生産面においては、新型プラズマ装置「SUPER-400 PRO」を搭載した切断機の生産を開始しました。さらに、「ファイバーレーザー切断機」の韓国新工場への技術移管を行い、韓国で販売を開始しました。

しかしながら、設備投資の意欲が上がらない中、競合他社との熾烈な価格競争が続いており、生産面での原価低減にも取り組みましたが、大きな成果をあげることはできませんでした。

その結果、売上高は115億30百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は1億11百万円（同68.3%減）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、酸素・窒素などのセパレートガスをはじめとした主要ガスの販売量は、国内製造業の生産活動に需要回復の兆しが見えているものの、本格的な回復には至っておらず、前年並みに推移しました。

このような状況のもと、セパレートガスに関しては、電気料金の値上げにより製造コストの上昇が続いたため、一部地域を除いてガス価格の改定に注力するとともに、アセチレン原材料であるカーバイトの値上げを受けてアセチレンの価格改定を実施しましたが、収益改善につなげることはできませんでした。また、新たな取組として、水素ベース混合ガス「スーパーカットH」および機器として水素混合器「スーパーミキシングH」の製造・販売を開始しました。

生産面においては、保安の確保・安定供給を第一に考え、コスト削減の実施に努めるとともに、「容器管理システム」の更新および老朽化容器の更新を行いました。また、国内炭酸ガスプラントの減少を受け、輸入ドライアイスの販売を開始しました。

医療分野においては、11月に開催されたHOSPEX Japan2013(医療福祉設備展)に新型「クロモフェアF」(LED無影灯)を出展し、高評価を受け、更新需要を中心に積極的な営業展開を図り、売上が増加しました。また、酸素濃縮器レンタルのサービス部門の強化、品質向上により契約件数が増加し、順調に推移しました。さらに、睡眠医療の検査関連の営業強化により「ジャスミン(睡眠時無呼吸症候群治療装置)」の契約件数が増加しました。

その結果、売上高は111億91百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は7億66百万円（同2.2%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、物流倉庫、商業施設の案件や耐震補強工事案件が堅調に推移したことや大型高層ビル案件の本格的着工に伴い、溶接材料の主需要先である建築・鉄骨向けの販売量が増加しました。また、販売強化を図るため、新潟に流通拠点を設置し、営業活動を開始しました。

溶接機器においては、5月から9月までグランド95キャンペーンパートⅡを実施し、溶接機、乾式安全器などの拡販を行うとともに、北関東支店、城北支店にてこいけ市を開催し、溶接などの実演を行い、溶接機、安全保護具、切断関連商品の拡販を図りました。また、9月にプライベート・フェアを開催し、サブマージアーク溶接機の展示実演を行うとともに、市場調査を目的として、GREEN ROAD JAPAN 2013に小型溶接機、マグネット工具、金属補修剤などを出展しました。さらに、10月には金属補修剤の拡販のため、ものづくりNEXT2013に出展し、新規販売ルートの開拓につなげることができました。

その結果、売上高は52億42百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は1億9百万円（同22.5%増）となりました。

その他

ガス機器においては、大型ヘリウム液化機を大学研究機関から1台受注しました。排ガス処理装置に関しては、国内において半導体・液晶メーカーの統廃合が進められている中、市場要求に合わせた新型排ガス処理装置の開発を行い、引合い・受注が増加しました。また、中国においては、5月に上海で開催された国際太陽光展示会に出展しましたが、設備投資の低迷が続き、受注台数を伸ばすことができず、成果をあげることはできませんでした。

その結果、売上高は2億94百万円（前年同期比44.4%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産)**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は492億7百万円で、前連結会計年度比1億47百万円の減少となりました。

流動資産合計は284億67百万円で、前連結会計年度末比9億1百万円の減少となりました。これは主に回収による受取手形及び売掛金11億75百万円減少によるものです。

固定資産合計は207億39百万円で、前連結会計年度末比7億54百万円の増加となりました。これは主に設備投資による有形固定資産6億54百万円増加によるものです。

(負債)

流動負債合計は170億17百万円で、前連結会計年度末比12億68百万円の減少となりました。これは主に短期借入金7億48百万円減少、未払法人税等2億84百万円減少によるものです。

固定負債合計は69億81百万円で、前連結会計年度末比6億16百万円の増加となりました。これは主に長期借入金4億44百万円増加によるものです。

(純資産)

純資産合計は252億9百万円で、前連結会計年度末比5億4百万円の増加となりました。これは主に円安の進行による為替換算調整勘定6億93百万円増加によるものです。

この結果、自己資本比率は47.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月8日発表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,615	7,396
受取手形及び売掛金	12,271	11,095
商品及び製品	4,447	5,037
仕掛品	1,515	1,919
原材料及び貯蔵品	1,788	1,931
その他	957	1,287
貸倒引当金	△227	△201
流動資産合計	29,369	28,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,721	3,815
機械装置及び運搬具(純額)	1,355	1,405
工具、器具及び備品(純額)	530	465
土地	9,132	9,116
リース資産(純額)	654	807
建設仮勘定	244	682
有形固定資産合計	15,638	16,293
無形固定資産		
のれん	360	32
リース資産	13	8
その他	156	161
無形固定資産合計	531	202
投資その他の資産	3,816	4,244
固定資産合計	19,985	20,739
資産合計	49,355	49,207

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,625	9,375
短期借入金	4,036	3,287
1年内返済予定の長期借入金	952	1,058
1年内償還予定の社債	140	40
未払法人税等	366	82
賞与引当金	499	201
役員賞与引当金	64	27
製品保証引当金	23	20
その他	2,577	2,923
流動負債合計	18,286	17,017
固定負債		
社債	100	80
長期借入金	1,714	2,158
退職給付引当金	262	234
役員退職慰労引当金	231	222
資産除去債務	13	14
その他	4,042	4,271
固定負債合計	6,364	6,981
負債合計	24,650	23,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,882	16,333
自己株式	△909	△913
株主資本合計	22,359	21,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	587	821
土地再評価差額金	1,233	1,233
為替換算調整勘定	△1,012	△318
その他の包括利益累計額合計	808	1,735
少数株主持分	1,536	1,667
純資産合計	24,704	25,209
負債純資産合計	49,355	49,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	29,329	28,259
売上原価	21,908	20,820
売上総利益	7,420	7,439
販売費及び一般管理費	6,771	7,092
営業利益	649	346
営業外収益		
受取利息	20	16
受取配当金	57	59
受取賃貸料	66	64
物品売却益	21	20
為替差益	85	150
貸倒引当金戻入額	20	9
その他	33	67
営業外収益合計	306	388
営業外費用		
支払利息	75	107
賃貸費用	35	42
その他	47	74
営業外費用合計	158	223
経常利益	796	511
特別利益		
固定資産売却益	669	43
投資有価証券売却益	5	35
その他	—	1
特別利益合計	675	81
特別損失		
固定資産除売却損	10	16
投資有価証券評価損	33	—
減損損失	57	304
その他	0	5
特別損失合計	102	326
税金等調整前四半期純利益	1,369	265
法人税、住民税及び事業税	508	231
法人税等調整額	199	243
法人税等合計	707	475
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	661	△209
少数株主利益	88	90
四半期純利益又は四半期純損失(△)	573	△300

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	661	△209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	241
為替換算調整勘定	△111	761
その他の包括利益合計	△136	1,002
四半期包括利益	525	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435	626
少数株主に係る四半期包括利益	89	165

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,783	10,878	5,138	28,799	529	29,329	—	29,329
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,783	10,878	5,138	28,799	529	29,329	—	29,329
セグメント利益 又は損失(△)	353	784	89	1,227	△33	1,194	△544	649

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△544百万円には、セグメント間取引消去101百万円、のれんの償却額△53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△693百万円、棚卸資産の調整額27百万円、その他の調整額73百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,530	11,191	5,242	27,964	294	28,259	—	28,259
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,530	11,191	5,242	27,964	294	28,259	—	28,259
セグメント利益 又は損失(△)	111	766	109	988	△9	978	△632	346

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△632百万円には、セグメント間取引消去114百万円、のれんの償却額△50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△712百万円、棚卸資産の調整額7百万円、その他の調整額9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	839百万円	940百万円
のれんの償却額	53	46

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	10,138	82.0
高圧ガス (百万円)	295	107.7
報告セグメント計 (百万円)	10,433	82.5
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	10,433	82.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	8,089	85.6	5,147	97.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	11,530	90.2
高圧ガス (百万円)	11,191	102.9
溶接機材 (百万円)	5,242	102.0
報告セグメント計 (百万円)	27,964	97.1
その他 (百万円)	294	55.6
合計 (百万円)	28,259	96.4

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。